

三崎魚市場に水揚げされた魚類 - XVIII

山田 和彦・工藤 孝浩・瀬能 宏

Kazuhiko Yamada, Takahiro Kudo and Hiroshi Senou: Fishes on
Misaki Fish Market Landed from Sagami Bay-XVIII

Summary. The fish fauna of Sagami Bay was researched on the basis of landed fishes on Misaki fish market. 588 fish species had been collected by our survey since 1986. In this report, six species are newly added to our fish collection. *Dasyatis bennetti* is recorded for the first time from Sagami Bay.

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにするため、神奈川県三浦市にあるみうら漁業協同組合三崎沿岸販売所（以下、三崎魚市場）において、三浦半島周辺海域で漁獲される漁獲物の調査を、1986年より継続的に行ってきた（山田，1990）。これまでに588種を報告した（山田・工藤，2012）が、新たに記録された6種について報告する。

調査方法

三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて、魚種、採集場所、採集方法を記録した。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎―富津岬以北の東京湾を除く海域とする。調査期間は2011年11月から2012年8月までの期間である。1ヶ月に1回以上、合計30回の調査を行った。初記録となる魚種、現場で同定困難な魚種については採集し、写真撮影後、10%ホルマリンで固定した。標本は横須賀市博物館魚類資料（YCM-P）として登録した。また、相模湾内の分布に関して、神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料（KPM-NI）および同館魚類写真資料データベースの画像資料（KPM-NR）を補足的に用いて記述した。

調査結果

新たに記録された魚種について、通し番号、標準和名、

学名、図版番号、採集年月日、採集場所および採集方法、体長（SL）か全長（TL）、または体盤幅（DW）、登録番号ならびに分布状況の順に記載する。和名、学名および一般的な分布記録は中坊 編（2000）に従った。

589. オナガエイ *Dasyatis bennetti* (図1-a)

2011年11月13日、毘沙門定置網、340 mm DW, YCM-P 45051.

本個体は腹正中線の皮褶が低く尾部の高さより低いこと、体盤背面正中線の棘が未発達なこと、体盤背面肩部に棘がないこと、口内底の触鬚状突起は5本であることからオナガエイに同定された。尾部は長く体盤幅の1.6倍。背面は暗灰色で斑紋はない。本種は南日本からインド・太平洋、大西洋の温・熱帯海域に広く分布するとされるが、相模湾からは初記録となる。

590. イセゴイ *Megalops cyprinoides* (図1-b)

2011年11月21日、毘沙門定置網、420 mm SL, YCM-P 45048.

東京湾からインド・西太平洋にかけて分布する。相模湾近海では横須賀市津久井浜の東京湾口から全長516.0 mmの成魚（Hayashi, 1972）、藤沢市の境川の河口より4.1 km上流から全長約100 mmの個体が8個体以上（竹嶋，1989）、城ヶ島から灯火採集で稚魚（岡部・工藤，1993）が報告されている。これらの他に、米神（KPM-NI 16508, 2005年11月17日、神奈川県水産総合研究所相模湾試験場採集）、真鶴（KPM-NI 21871, 2007年12月8日、大久保久美子採集）、大磯（KPM-NI 24683, 2009年10月1日、橋詰憲三・星



図 1. a: オナガエイ *Dasyatis bennetti*, YCM-P 45051, 毘沙門定置網, 340 mm DW; b: イセゴイ *Megalops cyprinoides*, YCM-P 45048, 毘沙門定置網, 420 mm SL; c: ヒシダイ *Antigonia capros*, YCM-P 45050, 伊豆大島北側釣り, 170 mm SL; d: アカメバル *Sebastes nermis*, YCM-P 45056, 毘沙門定置網, 132 mm SL; e: シロメバル *Sebastes cheni*, YCM-P 45053, 毘沙門定置網, 217 mm SL; f: アカタナゴ *Ditrema jordani*, YCM-P 45054, 毘沙門定置網, 194 mm SL; g: ヤマトイトヒキサギ *Gerres microphthalmus*, YCM-P 45055, 毘沙門定置網, 156 mm SL.

野和子採集)からの記録があり、いずれも定置網で漁獲されたものである。本種は熱帯・亜熱帯性で、遊泳性の強い魚であり、採集個体のサイズが大きいことから考えて、採集当時は相模湾に暖水の波及があったものと考えられる。

591. ヒシダイ *Antigonia capros* (図1-c)

2012年6月28日, 伊豆大島北側釣り, 170 mm SL, YCM-P 45050

本州中部以南のインド・西太平洋, 大西洋に分布する。相模湾では大島近海 (Senou *et al.*, 2006) などから

記録がある。

592a. アカメバル *Sebastes inermis* (図1-d)

2011年11月21日, 毘沙門定置網, 132 mm SL, YCM-P 45056

「メバル」は従来 *Sebastes inermis* とされていたが, Kai & Nakabo (2008) によりアカメバル *S. inermis*, シロメバル *S. cheni*, クロメバル *S. ventriosus* の3種に再分類された。相模湾では3種ともに分布しているが, 標本の得られた2種のみを記載した。相模湾における各種の分布状況は不明であるが, 各種とも湾内に広く

分布しているものと思われる。相模湾からは熱海(KPM-NI 26212, 26213, 26214, 27202), 真鶴(KPM-NI 26965), 横須賀市野比(KPM-NI 19441, 19443, 30662), 千葉県館山(KPM-NI 11814, 26210)などから標本が得られている。

592b. シロメバル *Sebastes cheni* (図1-e)

2011年11月21日, 毘沙門定置網, 217 mm SL, YCM-P 45053.

本種も広く相模湾内に分布していると考えられるが, 詳細は不明である。真鶴(KPM-NI 7364), 三浦市小網代(KPM-NI 8321), 千葉県館山(KPM-NI 26211)などから標本が得られている。

593. アカタナゴ *Ditrema jordani* (図1-f)

2011年11月21日, 毘沙門定置網, 194 mm SL, YCM-P 45054.

本種はこれまではウミタナゴ *Ditrema temminckii* の1型とされていたが, Katafuchi & Nakabo (2007) によって別種とされた。これまでの報告ではウミタナゴと区別されていないため, 本種の相模湾内での分布状況は明確になっていないが, 本種は外洋に面した岩礁域のガラモ場に生息する魚であり, 湾内での分布地は限られている可能性が高い。葉山産の写真が記録されているほか(瀬能, 2010), 伊豆海洋公園(KPM-NI 27545-27548, 27550, 27552, 27553), 横須賀市芦名(KPM-NI 30457, 30458)から標本が得られている。

訂正

山田・工藤(2005)で報告したイトヒキサギ *Gerres filamentosus* をヤマトイトヒキサギ *G. microphthalmus* に訂正する。本種は種子島から紀伊半島南部まで分布する(Iwatsuki *et al.*, 2002)。相模湾からは真鶴定置網で漁獲された個体の写真記録がある(KPM-NR 92706, 2007年8月29日, 大久保久美子撮影)。近似種のイトヒキサギは琉球列島以南に分布するとされているので(Iwatsuki *et al.*, 2002), 蓑宮他(2002)が相模川から報告したイトヒキサギは, ヤマトイトヒキサギの誤同定と思われる。なお図1-gの個体は2011年11月21日, 毘沙門定置網で採集された体長156 mmの個体(YCM-P 45055)である。

山田・工藤(2011)で報告したモンガラドオシの登録

番号 YCM-P 44475 を, YCM-P 45052 に訂正する。

おわりに

本報告を作成するに当たり, 標本登録の便を図っていたいただいた横須賀市自然・人文博物館の萩原清司氏, 資料収集にご協力いただいた丸夕丸, 丸共丸, 共栄丸, 諸磯丸, 万七丸, 三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。また, 本報告を査読いただき, 有益な助言を与えられた林 公義氏に対し厚く御礼申し上げる。

文献

- Hayashi, M., 1972. A record of *Megalops cyprinoids* from the mouth of Tokyo Bay. *Japanese Journal of Ichthyology*, 19(2): 132-134.
- Iwatsuki, Y., S. Kimura & Y. Yoshino, 2002. A new species: *Gerres microphthalmus* (Perciformes: Gerreidae) from Japan with notes on limited distribution, included in the "*G. filamentosus* complex." *Ichthyological Research*, 49(2): 133-139.
- Kai, Y. & T. Nakabo, 2008. Taxonomic review of the *Sebastes* species complex (Scorpaeniformes, Scorpaenidae). *Ichthyological Research*, 55(3): 238-259.
- Katafuchi, H., & T. Nakabo., 2007. Revision of the East Asian genus *Ditrema* (Embiotocidae), with description of a new subspecies. *Ichthyological Research*, 54(4): 350-366.
- 蓑宮 敦・勝呂尚之・瀬能 宏, 2002. 相模川および酒匂川で確認された魚類—I. 一初記録種について—. 神奈川自然誌資料, (23): 5-7.
- 中坊徹次 編, 2000. 日本産魚類検索: 全種の同定, 第2版. lvi+1748 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 岡部 久・工藤孝浩, 1993. 三浦半島南西部沿岸域の魚類—III. 神奈川自然誌資料, (14): 43-48.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinohara., 2006. Checklist of fishes in the Sagami Sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio Current. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 389-542.
- 瀬能 宏 監修, 2010. 海の魚大図鑑. 399 pp. 日東書院, 東京.
- 竹嶋徹夫, 1989. 相模湾初記録の魚類3種について. 神奈川県博物館協会々報, (61): 1-3.
- 山田和彦, 1990. 三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 95-102.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2011. 三崎魚市場に水揚げされた魚類・XVI. 神奈川自然誌資料, (32): 123-126.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2012. 三崎魚市場に水揚げされた魚類・XVII. 神奈川自然誌資料, (33): 113-116.

山田和彦: 相模湾海洋生物研究会

工藤孝浩: 神奈川県水産技術センター

瀬能 宏: 神奈川県立生命の星・地球博物館